

国際ロータリー第2580地区 (東京・沖縄)

東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週報 No.1652

2005-06年度 国際ロータリーテーマ 「超我の奉仕」 RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

国際ロータリー 第2580地区



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

2005-06年度ガバナー 古宮 誠

「協調性あるクラブ活動を」

SERVICE Above Self

第34代クラブ会長 後藤 正次

2月は世界理解月間です。

本日の例会

親睦旅行

第1653回

例会

2006. 2. 26~27

次回例会案内【3月1日(水)】

全員クラブ協議会

第1652回例会報告 (2006年2月15日)

司会 清水 高彦 SAA委員長

点 鐘

(後藤 正次 会長)

卓 話

国際奉仕委員会



斉 唱

それこそロータリー

(ソングリーダー 峯岸 一郎 会員)

来客紹介

(後藤 正次 会長)

○ お客様

曾我部 岩雄 様 (立川RC)



会務報告

(後藤 正次 会長)

○ 先日亡くなられた小峯元会員宅より香典のお返しを頂きました。

出席報告

(見延 壽昭 出席委員長)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
32名	26名	90.83%	地区大会全員登録

○ 事前メーキャップ

網代 雅男 会員 → 職業奉仕委員長会

栗原 高明 会員・石井 源一郎 会員 → 分区連絡会

幹事報告

(原田 友義 幹事)

○ 国際ロータリー年次大会の書類が届いております。

2006年6月11日~14日 スウェーデン マルメ 及び
デンマーク コペンハーゲンにて

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
 ◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
 ◎ 会長 後藤 正次 ◎ 幹事 原田 友義
 ○ 副会長 小野寺 一昭 ○ 副幹事 芦川 征史
 □ 会報雑誌委員長 比留間 孝司 副委員長 野島 征
 委員 渡辺 洋司 宮崎 茂夫

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店 2階
 〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1
 ◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 ◇ クラブ事務局
 〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1
 TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
 Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp



私自身、次年度の地区国際奉仕委員長を仰せつかりましたので、自身の勉強の意味も踏まえ皆さんのお手許に資料を配布致しました。

国際奉仕についてはなかなか明確なイメージがつかみにくいところがありますが、国際奉仕の歴史を踏まえてお話しをして皆さんの理解を深めて頂きたいと思っております。

現在4つの奉仕に分類され、国際奉仕もそのひとつですが、近々にその委員会構成も再編の動きがあることはまずご承知おき下さい。国際奉仕はそのうちの第4部門です。

国際奉仕のなりたちについて。1905年のロータリー創立から第一次世界大戦を契機として、1917年アーチ・クラブにより国際理解と親善を目的とした基金がされました。これが後のロータリー財団へと発展していくのですが、当初は唐突に受け取られあまりお金は集まらなかったといわれます。1912年初めて英国のエジンバラにて国際大会が開催されたことを記念して国際奉仕の理念が導入され、翌年1922年のロスアンゼルス大会においても綱領として正式に認められました。現在は2つの流れがあり、1つは国

際間の相互理解と親善の実践、もう1つは飢餓・貧困などへの人道的な援助活動であり、ここに金銭援助としての活動の色が垣間見えます。第二次世界大戦後の国際連合の設立、その国連憲章の制定にも多数のロータリアンが関与し、国際奉仕の実践が図られたと言えるでしょう。ただ、国家間の紛争については、双方の立場を尊重し、ロータリーが介入すべきではない旨の原則があります。

現在、各クラブ単位で国際奉仕の実践について尋ねても、問題の大きさに委縮してしまい、なかなか能動的な姿勢が見られないのは大変残念なことです。しかしボーダーレス社会といわれるなかでは、1地域での奉仕活動では十分な問題のカバーはできず、従来の社会奉仕活動と国際奉仕活動をリンクする、世界社会奉仕のという概念が生まれてきたのです。1962年インドのラハリーにより提唱され、1966年には金銭による援助が可能になり1968年から具体的な活動が始まりました。単に金銭の援助だけではなく、現地にロータリアンとして参加すれば何より奉仕活動の実践を実感できるでしょう。しかし、前述のように各クラブ・各ロータリアンのレベルでの関心の低さは未だ否定できず、決議23-34との抵触も指摘されることもあるのが現状です。RIから各地区への世界社会奉仕活動の要請もきているのですから、今後はそれをふまえてクラブでも勉強をしていければと思います。

未来に向かって。貧困・飢餓・識字率向上・身障者就労・エイズ・失明回避・暴力追放、これらのいずれもが、社会奉仕活動であると同時に国際奉仕活動です。これらの一連のボランティア活動は、恵まれない人々を救うことにより究極の世界平和を目指そうという、ロータリーのニーズにかなった活動とも言えるでしょう。

[担当：比留間

孝司]

委員会報告

- 親睦委員会 (内野 義久 親睦委員長)
親睦旅行の件 2月26日 9:30 西武信用金庫前集合
当日の旅程についても説明して頂きました。
- 次年度について (芦川 征史 次年度幹事)
 1. ガバナー訪問は各クラブごとではなく一括で行うこととなりました。
12月6日 立川パルクにて開催
ガバナー補佐の表敬訪問は案として7月12日の予定です。
 2. 多摩分区IMは来年3月22日、昭島の昭和館にての予定です。
 3. 東村山RCの創立40周年記念式が来年2月22日に開催されます。
- 会報・雑誌委員会 (比留間 孝司 委員長)
ロータリーの友1月号、2月号並びにガバナー月信2月号より記事紹介をさせて頂きました。



- 国際奉仕委員会 (野島 征 委員長)

対人地雷除去活動への募金につきロータリークラブ2580地区の活動を紹介します。日本経済新聞2月8日付の記事を発表して頂きました。更なる募金への協力をよろしくお願い致します。



ニコニコBOX (峯岸 一郎 親睦委員)

☀ 曾我部岩雄様(立川RC)⇒メイクアップよろしくお願い致します。

◆ 今回計 2,000円 累計 1,119,500円